

■保険部門 (林副理事長)

今期の実績としては、去年との比較及び今年の予算両面から見て収入金額は僅かではあるが上回っております。両丹地区の現状と致しましては、京都府下の他の地域に比べると代理店登録率がやや低いようで、あと2割程度、代理店なり紹介代理店という形で登録率を上げていただけるとこの地区の保有高並びに手数料に貢献いただけたと思います。

新会館竣工記念の北海道キャンペーンにつきましては、3月末をもって一応締め切りを致しました。ペア招待と半額補助を含め50事務所の方々が対象となりました。この地区からは3事務所が該当されております。

京税協として損保・全税共年金・簡保が取扱えなくなり、間口が狭くなりました。どうしても大同さんの生保関係に力を入れていかなければなりません。この状況を踏まえがんばって参りますのでご協力をお願い致します。



■事業部門 (片野副理事長)

コンパクトで見やすいと評判の税務便覧の販売にご協力頂きありがとうございます。15年度の販売実績は、34,774部でした。組合員のご利用が約2割増加しております。16年分につきましても委員の入替等、制作に向け既に動き始めました。また、約45社の優良な企業との提携を組合員ハンディブックに特典や担当者なども含め、まとめさせて頂いております。本年は、この提携企業の見直し、特に契約内容の見直しをしていきたいと思っております。提携関係をより充実させていきたいと考えておりますので、どうぞ有効にご活用ください。

■地区連絡部門 (作見副理事長)

4月8日のチャリティーゴルフ大会には両丹地区からも16名の組合員のご参加を頂きました。352,000円という多額のご芳志が集まりました。後日、京都新聞へ寄付したいと思っております。来る18・19日、恒例の一泊旅行を開催させていただきますが、こちらこの地区から26名のお申込を頂いております。当日は朝早くからご苦勞様ですがよろしくお願いたします。少し先ではありますが、9月18日から6日間のパースの旅も募集中でございます。定員70名という事でまだ若干の余裕がございますのでどうぞご夫婦でお申込みください。新しく登録された先生方が居られましたら組合への加入をお勧めくださいますようお願いを申し上げ、簡単ですがご報告を終わります。

■総務部門 (田島副理事長)

定款の変更についてご説明をさせていただきます。税理士法の改正に基づき、税理士法人が誕生しました。協同組合法において、組合員の加入資格として法人自体は加入していただけるのですが、その法人の中の社員税理士が組合員になれないという事態が起って来ました。もう一つ住所地組合員が組合法上違反しているようです。調べますと該当される方

が80数名に上ります。組合法に合わせて定款を変更しますと、これらの方々が組合員ではなくなってしまう訳です。それでどのようにして対応するかを各方面と協議して賛助会員制を取らせて頂くということになりました。今後増えていくであろう税理士法人のことを考えると賛助会員制というものをぜひとも総会でご承認いただけるよう計っていきたいと考えております。変わらぬご支援をお願い致します。

意見交換

引き続き、吉澤専務理事から定款変更について詳しい説明があったのち、舛本地区連絡委員長の進行で意見交換の時間を設けたが、各担当者からの詳しい説明で満足されたのか、講演会からの長丁場のせいかな文字通り一問一答があった。

問 賛助会員規定につき、総会で承認されれば、実務的にはどのような流れで移行をしていくのか? 腹案などお聞かせいただければ...



答 組合員を対象に5月13日に事前説明会を行います。そして総会を迎え、承認を頂いたあと、対象の組合員に順次移行をお願いしていくという流れになるかと思えます。

作見副理事長の閉会の挨拶で懇談会を終えた。

懇親会は吉澤専務の司会で、理事長の挨拶に続き、大同の職員紹介のあと松宮宮津支所長のご発声で開宴となった。にぎやかな宴は出野公人組合員の謡曲と林副理事長の閉宴の挨拶で締めくくられた。

(編集委員 石原 牧)

京都税理士協同組合海外旅行

世界で一番美しい街

オーストラリア

パース

Australia

6日間の旅

募集要項

◆ご旅行期間: 2004年9月18日(土)~9月23日(木)

◆ご旅行代金: おひとり252,000円

※245,000円の追加代金でビジネスクラスをご利用いただけます。ただし、お座席に限りがありますのでご希望に添えない場合もございます。予めご了承ください。

◆申込締切日: 2004年5月31日(月)

※定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。

◆募集人員: 70名様

◆最少催行人員: 35名様

◆お食事: 朝食4回・昼食4回・夕食3回

◆添乗員: 全行程同行(京都駅より)

◆ご利用予定航空会社: シンガポール航空(SQ)

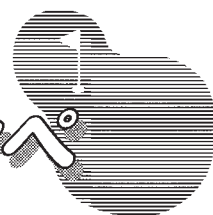
◆ご利用予定ホテル: シェラトンパース

(デラックスルーム、バス・トイレ付)



# 京税協・大同 チャリティーゴルフコンペ

## 第33回



### 隠しホールとメンバーに恵まれて 優勝できました



東山支所 伊島 睦

春の暖かい絶好のコンディションの中でゴルフができることの喜びをかみしめながら、インコースの3組目でスタートしました。

組み合わせは、中京支部の河原林温朗さん、東山支部の平田雅也さん、上京支部の安井伸夫さんという、日頃一緒に回らせてもらうことの多い気のおけないメンバーでしたので、緊張もせず冗談を言いながらのティショットとなりました。

インコースの10番ホールは、いきなりそこそ距離のあるパー5のロングホールです。あまり飛距離の出ない私は、こういうホールは4オン1パットのパー狙いなのですが、1打目も2打目も、たまたまフェアウェーをキープし、3打目に握ったミドルアイアンがたまたまグリーンを捉えて3オンに成功し、その日のグリーンの状態もまだわからないまま適当に打ったパターがこれまた、たまたま入って、何だか訳のわからないうちにバーディを取っていました。結果として、このバーディが優勝につながるなんて、夢にも思わないまま次のホールへと向かっていたのでした。

しかし、これで今日は行けるぞ！と意気込んだのもつかの間、3ホール目のミドルホールでティショットをOBで7。このあとダボありトリプルありで、気がつけばメンバーと和気あいあいでラウンドする、いつもの「楽しければいい」ゴルフに戻っていました。

これまでのこの大会では、上位はおろか飛賞すらほとんどいただいたことがなかったのですが、スタートホールのバーディが隠しホールから外れ、その後のダボやトリプルがこと



ごとく隠しホールに入るという幸運に恵まれ、ついに優勝させていただくことができ、大変嬉しく思っています。賞品にも欲しかった液晶テレビをいただき、家族にも絶賛されました。

最近では、昨年発足した青税のボウリング愛好会の月例に欠かさず出て、スコアもかなりアップし、ゴルフよりもむしろ

ボウリングの方に少し気持ちが傾いていたのですが、今回のこの優勝で再びゴルフが楽しくなってきました。

最後に、事前の準備や早朝の受付から表彰式までお世話をいただいた京税協の役員先生方や職員の皆様、そして大同生命の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

☆☆☆☆☆☆☆☆

### やりました、出来ました



右京支所 大槻 浩康

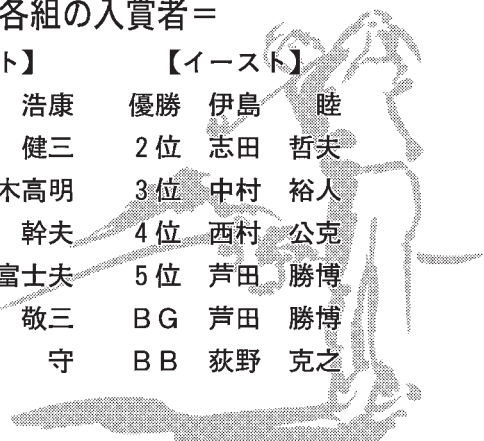
やりました、夢の連続優勝、出来ました冥土のゴルフ仲間への土産話？（自慢話？）。幾度参加させて頂くも緊張の連続で（生来の小心者です）、入賞も覚束なく何事も参加する事に意義あり等と開き直って居りましたが、連続優勝を機に、少しずつ心境に変化を来たし、今後は貪欲に、厚かましく、（これこそ生来のものです）参加させて頂こうと思っております。

楽しい一日をご一緒頂いた諸先生有難うございました。末筆乍ら毎回お世話頂く皆様に感謝申し上げます。



### =各組の入賞者=

【ウエスト】			【イースト】		
優勝	大槻	浩康	優勝	伊島	睦
2位	田中	健三	2位	志田	哲夫
3位	佐々木	高明	3位	中村	裕人
4位	東	幹夫	4位	西村	公克
5位	梅景	富士夫	5位	芦田	勝博
BG	小黑	敬三	BG	芦田	勝博
BB	木村	守	BB	荻野	克之



### 太宰府天満宮にて

中京支所 林 正

年に数回ある旅行の中で京税協の旅行ほど気楽な旅はない(幹事様のご苦勞に心配りなく申し訳ない)。100名を越す大所帯にまぎれて、朝からお酒を飲み言いたい放題の2日間。前夜にどんなに夜更かしをしようと車中で寝ればよい、だから京税協の旅行は楽しい。



前日までは行き先すら定かでない中、朝9時前に京都駅に集合、久しぶりに顔を見る仲間達と会話をしながら車中へ乗り込む。早速お酒の力を借りて眠ったり、騒いだりあつという間の3時間、博多駅からはバスで昼食会場へ、またまた昼間からの大宴会に早くも疲れ気味という不謹慎さ。空模様を気にしながら、いざ太宰府天満宮へと向かう。

太宰府天満宮は、菅原道真公の御墓所の上に社殿を造営して、その神霊御奉祀する神社で、学問の神、至誠の神として世の崇敬を集めているという。菅原道真公は延喜3年(903年)に生涯を終え、その後、御遺骸を牛車に乗せて進んだところ、間もなくその牛が伏して動かなくなった。これは菅公の御心によるものであろうとその聖地に御遺骸を葬ったと言う、ひょっとしたら遺骨を発見出来るかも?残念ながらそんなことはないでしょう、骨は100年程度で風化されてしまうそうです。境内には約6千本の梅が植えられており、菅公が京都御所出発に際し、紅梅殿の梅に別れを惜しまれ「東風吹かば匂ひおこせよ…」と詠ぜられ、その梅が菅公を慕って一夜のうちに飛来したのが御本殿前の「飛梅」であると伝えられている。飛梅は境内の梅にさきがけて正月早々に咲き始めその香りは往古を偲ばせる。心字池に架かる三つの橋は過去・現在・未来の三世一念という仏教思想を残し、過去は振り返らず、未来にはつまづかずの教えを念頭に慎重に橋を渡るようガイドさんより説明を受けたにもかかわらず、橋上で後ろから声をかけられ簡単に振り向いてしまう自分の愚かさはこの地にいようと変わらないことを実感する。誰が雨男なのか、天気予報通りに小雨の降る中を太宰府で記念の高価な傘を買って、次の目的地吉野ヶ里公園へと向かうためバスに乗り込む、発車オーライ。

### 吉野ヶ里歴史公園

上京支所 小西 嘉次

紀元前3世紀から紀元3世紀に亘る弥生時代の遺構・遺物が、平成元年以降次々と発掘された国内最大級の環壕集落跡吉野ヶ里遺跡は、それらの発掘調査をもとに復元され、邪馬台国「魏志倭人伝」の世界に浸ることのできる特別史跡といわれている。



あたり一面の麦畑の佐賀平野の中に、木々に囲まれた兵陵地の所々に、遠目ではきのこの様な建物が一番目に付いた。弥生時代の農耕民が自領地を守るために造ったという「逆茂木」という垣根と丸木を井型に組んだ鳥居(カラスの様な鳥が三羽とまっている)を越えると、三階建茅葺屋根で一階二階とも板張りがなく柱だけの「物見櫓」2棟が高く聳え建っ

ている。先程、遠目に見えていたきのこの様な建物がこれである。三階まで上がってみると、広く遠く四方に佐賀平野が見渡せ、当時はこの丘に敵が攻めてくるのを逸早く発見して防御に役立ったであろうことが伺える。

さらに見渡すと、この丘全体を高さ5メートルぐらいの丸太が垣根の様に立ち並び、まるで城壁である。聞けばこれを「環壕」といい、総延長2.5キロ、面積40ヘクタールにおよぶ外壕という。

この壕の中に、「南内郭」、「北内郭」という集落と、穀物などの食料や祭祀に使う道具類、武器などを保管する高床式倉庫群跡そして古墳等が決められた処にあり、これら全体をみると一つの「村」や「国」というものが誕生しつつあったと言われ、私達の今でいう自治体が組織造られていたのではないかという。

南内郭や北内郭には、堅穴住居が建ち並んでいる。今の日本住宅の屋根部分だけを平地に置いたようなもので、丸形や長方形など様々である。当然のこと中は土間であり、囲炉裏と思しきものが中央にあり、これを取り囲んで家族か又は一族が生活していたのであろうか。某テレビ局のタレントが垂熱帯地方の裸民族の部落を訪れ、ジャングルの中で数日間、その民族の一家族と共同生活の体験をする番組をふと想像させられた。

雨の降る吉野ヶ里遺跡の探訪であったが、古墳や銅鐸、銅剣などの遺物などもっとのめり込む程見たかったが、時間が僅かであったことから果たせなかったのが残念でもあった。(追記)

宿泊したホテルの翌日朝、7時のニュースで吉野ヶ里歴史公園拡張事業とかで、老朽化した遺跡の「復元物見櫓」2棟が私達が見学していた当日一般入札され、1棟は145万円で社団法人に、もう1棟は125万円で一個人に落札され、何んでもレストラン駐車場のモニュメントになるという報道を見て唖然としたことを記しておきます。

### 古湯温泉にて

舞鶴支所 藤村 良幸

生僧の雨の中、吉野ヶ里歴史公園を後にして、バスは一路宿泊先である古湯温泉へ。秘湯にふさわしく渓谷の山間を縫う様に進みます。バスガイドさんによると「古湯温泉」は約二千二百年前に不老不死の靈薬を求めて、中国から除福がこの地を訪れた折に発見されたと伝えられているそうです。丹後地方でも除福伝説があり、全国各地でいろんな形で伝承されているものだと思いつつ揺られているうち、目的地「吉花亭」に到着しました。7時からの宴会までしばらく休憩の後、別名「美人の湯」として慰勞と湯治で親しまれている温泉へと足を運びました。大浴場でゆったりと温まり露天の岩風呂や檜風呂などでくつろぎ、昼のビールや紹興酒のアルコールを発散させ夜の宴会に備えました。



さて、宴会は二百畳敷の広座敷「飛天」にて開催され、新



平成16年4月18日(日)~19日(月)

# 秘湯 古湯温泉

京都税理士会館の竣工式も終え、重責を果たされた上田理事長の軽やかなご挨拶で始まり、それを受けて大高支部連会長の新会館での税務相談を積極的に行ないたい旨のご挨拶、続いて廣瀬來三先生のユーモアたっぷりの乾杯により開宴となりました。

鯛の活造りや揚げたての串揚げなどを食しつつ大きな声で談笑しながら杯を傾ける先生、コミックマジックショーを真剣にご覧になっている先生、ただ一途にコンパニオンさんを口説いている？先生などなど。さらに地区対抗ゲームで盛り上がり杯を重ねました。作見副理事長の中締めのご挨拶で散会となり、それぞれの部屋へ二次会へと大移動です。

舞鶴支所の参加者はビールや焼酎を買い込み、日が変わる頃まで賑わうことしきりでした。

翌朝は朝風呂から朝食へ。昨日の飲みすぎも忘れ風呂上りのビールを楽しむのは温泉の醍醐味と言えます。

激しい雨の中旅行世話人の方々に感謝しつつ、今回の旅行で一番期待していた鍋島藩ゆかりの焼物大川内山伊万里の里へ。

最近焼物に凝っている私にとって興味の尽きない旅となりました。

## やきもの(陶器磁器)への想い

園部支所 上段源一郎

今回京税協主催のグルメと湯の響宴旅行募集案内に、学問の神さま、菅原道真公の太宰府天満宮と陶磁器の伊万里の里訪問が計画されており、日頃から一度行って見たいと思っていたので早速申し込みました。



我が園部支部も、昨年11月に1泊2日の予定で、嬉野温泉、有田観光(有田焼)長崎市内観光(平和記念像、グラバー園、大浦天主堂等)の親睦旅行をしました。

北九州には、有名なやきものが多くあります。特に佐賀県には、昨年行った、有田焼、今回の伊万里焼、白石焼(北茂安町)唐津焼、肥前吉田焼(嬉野町)等主な窯場があります。

その中で、江戸時代初め、日本最初の磁器を生み、染付、色絵に多様な美を育てあげたのが有田、伊万里焼の歴史とのことです。

17世紀の初め、豊臣秀吉の朝鮮出兵で李朝系陶工、李參平(日本名金ヶ江三兵衛)によって、有田の他に白磁鉾が発見され、日本初の白磁が誕生したとされる。

17世紀中頃には、白磁に呉須(焼成すると青色になる鉱物の顔料)で絵付した染付に色をのせた色絵(赤絵とも)のやきものがやかれるようになった。

17世紀末には、金彩を加えた華やかな金襴手のやきものが登場した。このやきものを伊万里の港から運び出されたため「伊万里焼」の名で親しまれた。

17世紀後半には、さらに精緻なやきもの、いわゆる鍋島藩

の御用窯が焼く鍋島焼は、藩主用、将軍家、大名家への贈答用としてつくられた。そして今回訪れたのが、伊万里焼の里、秘窯の里、大川内山である。

到着前に雨が上がり、約一時間の予定で、バスをおりたが、まず伊万里鍋島焼会館で、コーヒーを飲み、館内で展示物を見学した。又、近くに、伊万里片岡鶴太郎工藝館があり、そこも見学したが、残念ながら出発時間がきてしまった。次回には、単独で時間を十分にとり、器をながめ、手で持って鑑賞し、何点か買いもとめたいと思っている。(参考資料「週刊やきものを楽しむ」小学館)



## 2日目 昼食から帰りまで

右京支所 田中 守

山の秘湯、古湯温泉の宿を9時前に出発、情緒溢れる伊万里焼の里を見学した後、観光バスは白い砂浜と緑の松原が長い弧を描く“虹の松原”の美しい景色を見ながら、唐津シーサイドホテルに到着。お腹が空いてきたところで、玄界灘を眺めながらのロケーション最高の昼食会場である。私は好き嫌いがまったくなく、旅に出れば必ずその土地の食べ物と酒を口にするのが楽しみである。乾杯の後、新鮮なヤリイカの刺身、パリッと仕上がったイカの天ぷら、珍しく味わい深いいかのしゅうまいや、いかめしなど、なかなかの食感で食欲を誘ってくれ、食を存分に満喫することができた。聞いたところ、イカは何匹とは呼ばず、何杯と呼ぶそうです。また驚いたことにイカは80種類もいるそうです。イカ三味の昼食後、次の訪問先である、海産物ショッピングのマリンセンターおさかな村へと向かった。ガイドさんに最後の土産場ですからねと告げられ、玄界灘に面した唐津ならではの品揃えで、新鮮な旬の魚が目白押しのセンターで、30分程買いのものと、バスで博多駅に到着。駅では、家族に一番喜ばれるラーメンを土産に買い込み、15:20分発の新幹線“のぞみ”に乗車。博多-京都間661kmを2時間15分で結ぶ。ちょうど一週間前にも福岡へ飛行機で行きましたが、やはり旅の楽しみは飛行機よりずっと鉄道がいいですね。車窓に移ろう旅情に富んだ風景を楽しむことができます。それだけに、進行方向に向かって右側の席に座るか、左の席に座るか、結構大きな賭けでもあります。それにしても、新幹線は速くなったもので、確か昨秋、品川駅が開業し、車輛がすべて時速270キロで走行し、東京-新大阪の所要時間が、3時間から2時間30分に短縮され便利になりました。昨日の訪問先吉野ヶ里歴史公園では、弥生時代にタイムスリップしたような気分を少し味わうことができ大変満足な旅行でした。電車は無事京都駅に18:08到着。2日間にわたってお世話を下さった先生方にお礼を申し上げます。





# 知らなかった!ではすまされない! 民法と税理士業務

立命館大学  
法科大学院教授  
三木 義一 先生

4月15日(木)新会館3階京税ホールで、新会館開館特別記念講座が開催された。講師の先生が、税理士に大変なじみの深い、人気の三木義一先生だった事もあり、ホール定員の150人をはるかに超える希望者があり、追加の補助椅子を出すなど対応したが、全員の希望に添うことはできなかった。



講義は、民法と税法の性質の相違点という基本的なところから、民法と税法の接点まで広範な内容で行われた。

最近ニュースになった田中康夫長

野県知事の住民票移転問題から、業務上発生しそうな問題、顧問先から相談されるような問題を具体的に提示され、税理士としての回答、税理士としての留意点をわかりやすく講義された。時には質問を投げかけられたりという対話式にすすめられる三木先生独特のスタイルに、皆引き込まれるように聞き入っていた。



資格制度が変動する時代を迎え、税務訴訟も増加し、ますます税法以外の知識、特に民法との接点が重要になってきている今、大変すばらしい記念講座であった。

## 第18回 (平成15年度)

# 全国統一キャンペーン 優績営業職員表彰式

去る1月19日、ウェスティン都ホテル京都において、「第18回全国統一キャンペーン」で特に優秀な成績を挙げられた方々の表彰式を挙りました。

式は小坂文夫専務理事の司会で開始され、上田理事長の挨拶の後、林伸三郎副理事長が経過報告をいたしました。そしてご来賓を代表して、日税連森金次郎会長、全税共惣河和子会長等がご挨拶下さいました。

つづいて表彰式になり、受賞者を代表して、理事長賞を受賞された日本生命の小島三恵さんが謝辞を述べられました。

式終了後は、会場を移して懇親会を開催しました。アトラクションとして、昨年9月のキックオフパーティで好評だったビートルズのコピーバンド“ビートルリップス”が演奏しました。皆様日々のきびしい業務を離れ、楽しそうに踊ったりしゃべったりと懇親を深められました。

### 受賞者ご芳名

(順不同・敬称略)

#### ◆VIP大型総合保障制度

- |      |                |            |
|------|----------------|------------|
| 理事長賞 | 日本生命京都西支社      | 小島 三恵      |
|      | 同              | 西田 珠恵      |
| 金賞   | 日本生命京都南支社      | 佐藤 宣子 他5名  |
| 銀賞   | 第一生命京都総合支社     | 倉橋 成美 他8名  |
| 銅賞   | AIGエジソン生命京都営業所 | 田中千鶴子 他28名 |
| 努力賞  | 明治安田生命京都支社     | 山岡 通能 他59名 |

#### ◆連続入賞者(雅ファイブ)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 朝日生命京滋支社 | 久下万里子 他5名 |
|----------|-----------|

#### ◆優秀機関長

- |                |            |
|----------------|------------|
| AIGエジソン生命京都営業所 | 酒井総一郎 他14名 |
|----------------|------------|

#### ◆優秀支社賞10

- 朝日生命京滋支社
- 日本生命京都南支社

### 謝辞

受賞者を代表いたしまして、一言ご挨拶申し上げます。  
本日は「全税共第18回全国統一キャンペーン」の表彰式にお招き頂きまして、誠に有難うございます。今回、表彰をお受けになられた皆様は7社106名とお伺いしております。壇上からではございますが、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は、日本経済にも明るさが見え始めてきたと言われておりますが、本格的な回復軌道には、まだほど遠い実感です。新たな年を迎えてもどこか将来の不安が漂い、我々金融業界におきましても、まだ出口が見えず、厳しさが続いているように思われます。

しかし、この様な時こそ、私たち生命保険に携わる者が難題を克服していくためには、より各人の先見性、戦略性、決断力、行動力を高めていくことが求められています。その結果として、お客様と共に繁栄の道を確かなものとして行きたいと願わずにはいられません。

私たちにとりまして、この全税共キャンペーンは大きな目標であります。これもひとえに税理士先生方々のご理解とご協力の賜物と深く感謝致しております。来年もこの栄えある表彰式に出席出来ます様、私達もより一層努力を重ねて参る所存です。今後ともご支援、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、京都税理士協同組合のますますのご発展と、本日ご出席されておられます皆様のご活躍、ご多幸を祈念し、大変簡単ではございますが御礼の言葉とさせていただきます。

平成16年1月19日

日本生命保険相互会社  
京都西支社 舞鶴営業部

小島 三恵



## 中国風 普茶料理が 楽しめます

伏見支所 須藤 弘



その「店」は、普茶料理総本山海寶寺禅院。普茶料理は、江戸時代初期に、黄檗宗とともにもたらされた中国風の精進料理ですが、現在では日本風に変化しております。普茶とは、茶を点じて普く大衆に供することであり、普茶料理の名もこれからでたものです。料理は4人以上で、皿に盛られて順次出され、各自が自由に自分の箸で取り皿に取り分けて賞味します。油脂類と葛粉が多用されるのが普茶料理の特徴です。



最初の料理は、「梅干の日の出揚」。塩抜きを繰り返すこと二日、三日目に砂糖で煮詰めて油で揚げ、日の出を思わせるような形をした料理です。口に含むと梅の味をかすかに保ちながらほのかな甘さがあります。「麻腐」（ごま豆腐の上に抹茶で色付けした白味噌をのせたもの）、「箒羹」（野菜などの煮物の盛り合わせ）、「附揚」（椎茸、ゆりね、にんじん、筍、蓮根などの揚げ物、豚肉が使用されています）、「浸し物」（椎茸の生姜しぼり、きゅうりの味噌あえ、ぜんまいの芥子あえ）と続く。一品一品味わいたいものです。注目したのは「雲片」。その日残った野菜ひとつひとつを下味付けし、葛でまとめたもの。素材は捨てない、最後

まですべて使うという考え方によるものです。いずれも鉄鍋一つで煮汁・揚げ汁も無駄にすることなく、手順と火加減で巧みに料理するのが普茶料理の真髄だそうです。玉露を粉にしてふりかけたごはん、澄し汁、香菜（漬物）と続きます。最後に、いが栗のお菓子と果物。なお、酒は、きめ細かく、おだやかでふくらみのある伏見の酒。なによりも、自然の恵みを大切に、捨てることなく最後まですべてを使い切る、料理に手間を惜しまない姿勢が素晴らしい。我々税理士業務にも相通ずるものがあるように思われます。

本堂脇の庭にある、桃山時代の名木「木斛」（ツバキ科の常緑木、白い花が咲く）にも目を奪われます。政宗公遺愛の木（樹齢400年以上）とのこと。ここは伊達政宗公の屋敷跡であり、この辺りは当時伊達町と呼ばれていました。政宗公は前後9年間この伏見屋敷を中心に生活し、桃山文化の影響を強く受けました。また、大丸百貨店との関係が深いとのこと。初代の下村彦右衛門は伏見出身で、古着の商いから始まり、中国（明、清）からの織物、器物の商売で大丸百貨店の基礎を築きました（因みに、⊕の由来は、○は宇宙、大は一人を組み合わせた字であり、天下一の商人という意味。当時の海寶寺の和尚さんが名づけたそうです）。

普茶料理のしおりには、「飲食は平等なり。食卓に臨んでは一座相和して互いに一器の菜根を噛み、一椀の粗汁を吸ってその親愛の情を深めることを旨とする」と書いてあります。禅風の庭園を眺めながら、中国古来の伝統料理を味わうのに適したところです。明日への活力のために一度、清涼閑静な禅院で高雅淡泊な普茶料理を味わってみてはいかがでしょうか。予約が必要です。

『海寶寺』 伏見区桃山町正宗20 ☎075-611-1672

## シリーズとっておきのお店

ここでは組合員先生方にお薦めのお店をご紹介します。

### 唐様で書く 三代目？

編集委員 中西 作治



京都土産の菓子として、あまねく知られている五色豆と、蕎麦ぼうろ、その蕎麦ぼうろは、明治の末ごろ、澤田正治郎というパン職人の手で生み出された。現在、いくつもの中小メーカーが蕎麦ぼうろ製造にひしめき、それぞれ一家言のある京都菓子業界のうさ方たちが口をそろえて『蕎麦ぼうろは澤正』と居住まいを正すのは、三代目になって尚、日々あらたな精進と、手作りにこだわる丁寧な仕事によるところであろう。

さて、その三代目澤田正三氏、蕎麦菓子屋を継ぐ気など、さらさらなく、好きな仕事を始めるための資金稼ぎに肉体労働をする傍ら、とりあえず家業を手伝っているうちに、30歳で蕎麦にはまり込んでしまったという変わり者、いや果報者というべきか。

東山、今熊野にある実家の蕎麦菓子屋の二階で始めた『そば茶寮 澤正』は先祖が明治の貿易商だったという持ち主により、マンションに変貌しようとしていた昭和初期建築のレ

トロな屋敷の迎賓館部分を買取って、移転した。『貸家』と唐様で書く三代目——の逆を行く見事な三代目である。

今熊野、剣神社（つるぎじんじや）畔の、この新店、日本家屋と洋館がつながって、ステンドグラスと寄せ木の床、茶室にテーブル、和洋折衷の不思議な舞台装置に旬の素材と、そばを使った創作料理の会席仕立てがめずらしい。

花咲月の昼の献立は、先付一更科変わり蕎麦、胡麻だれ、八寸一三度豆のそば茶和えなど数種、炊き合わせと続き、二八の冷やしそば（絶品）、焼物はひき肉のそば粉ピカタ風（美味）、留椀、そばの菜種ご飯（絶妙）、菓子につづき、そば茶が香ばしい。

今熊野生まれという絶好の環境は、友人たちが京焼きの作家といううれしさ。

今は亡き随筆家の大村しげ女史を第二の母と呼ぶ三代目、つぎつぎ新しい料理を持ち込んで、『料理も文章も腹八分目にしとかな、しつこい』と諭されたとか。

店の在りようも、器も、批評家もすべて本物が寄り合って、『一日に50人くらいが理想』と悩みながら、断りきれないお客を前に、魅力いや増す澤正三代目は蕎麦に似て自然体だ。

『澤 正』 東山区今熊野剣宮町33-22 ☎075-561-4786



## 東福寺

東山支所 倉重 由幸

平成11年2月、山科に引越して早5年が経ち、山科にも数多く良いと

ころがあるのを知りましたが、東山（東福寺の近く）には45年の長きにわたり住みましましたので、当時を懐かしみつつ、小生が幼い頃から良く学び遊んだ、東福寺廻りを書くことにしました。最近、東福寺と言えば秋の紅葉で日本中に有名になってしまいましたが……行き方はJR（奈良線）、京阪、市バスのいずれにも東福寺駅があり、JRと京阪の駅は隣合わせになって同じ場所にあり、下車後、本町通りを南へ約200mほど歩くと北門（小生が以前住んでいた家は100mほど南でした）があり、鳥羽街道（本町18丁目）には南門がある。一般的には北門から行きます。もうここからは東福寺の参道みたいになっており、数多くの寺院が立ち並び、良い景観で拝観等できる寺院も多く、庭園などを見て歩くのもまたいいものである。この辺りは、小生たちが少年の頃は、夏が来ると毎日のように虫取りに来ていた。東福寺の無料駐車場を右に曲がり、もう少し歩くと臥雲橋と言う橋があり、ここから紅葉の名所である通天橋を眺めるのが最高で、この下には稲荷山を水源とする洗玉谷



## シリーズ おすすめ散歩道

（小川）が流れ、風情豊か、また、右には小生が通った月輪小学校があり、当時はこの辺りは格好の遊び場で、よくつかまえや、かくれんぼなどをしたものであった。もちろん最

近では、秋の紅葉シーズンになれば、人々で溢れるぐらい人気のある名所になっている。この臥雲橋からもう少し南へ歩き、右にすごい門構えの東福寺さんの保育園を通過し、左に曲がれば、門をくぐり東福寺の境内に通じる参道へ、まず目に入るのが本堂、もう少し歩くと奥に、通天橋などを一望できる方丈八相庭入口、手前左には通天橋入口、もうこの眺めだけでも素晴らしいのに、通天橋は言うにおよばず方丈庭園も北庭（井田市松）もみじなどの木々はもちろんであるが、苔も素晴らしくきれいで、南庭（四仙島石組）の石庭も素晴らしいものである。本堂回りは、石段を上がるとかなりの幅で石畳があり、今では考えられないが、小生たちは中学生の頃まで、よくリレー競争などをしていたものであった。本堂南には、国宝の古建造物でもある三門があり、一年に数回、一般公開も行われているようで、かなり以前であるが、小生も何回か見学したことがあるが大した建造物である。この他にも、本堂の回りには重要文化財の禅堂、同じく東司等数多くの古建造物を残しており、その敷地も広大で一日がかりで見学しても時間が足りないぐらいであり、また11月には筆供養も行われている。一般的には紅葉が素晴らしい秋が良いように思われるが、小生は、木々も芽ぶく春に訪れるのも非常に良いものであり、また、もう少し足をのばせば伏見稲荷大社も参拝できるのも嬉しい。以上のごとく、素晴らしい散歩道なのでゆっくり時間取って訪れて下さい。最後に、東福寺の簡単な説明をしておきます。この東福寺は恵日山と号し、臨済宗東福寺派の大本山であり、藤原道家が1236年、東大寺、興福寺とならぶ大寺の建立を発願して東福寺と名付け、1256年完成した。



国宝 三門

## 船岡山界限

東山支所 長谷川 豊

日頃の運動不足解消のためにと、花見がてらに休日の朝、愛犬（チョコラブ）を連れ、散歩に出かけた。

北山通と千本通の交わる近辺の自宅から光悦寺へ通じる鷹峯街道を南下。佛科大学の前から大徳寺の塔頭の一つである孤蓬庵を経て船岡山へ辿り着く。

高さ112m、東西200mで、山というよりは岡と呼ぶ方がふさわしいような船岡山。桓武天皇の平安京造営のときに、都づくりの基点にされたとのこと。戦国時代の応仁の乱の際に西軍の陣地として以来、周辺を西陣と呼ぶようになったそうです。

西側の船岡山公園から散策道をブラブラと頂上へ。すると市内が一望できる広場があり、西方の左大文字山は目の前。南方の京都タワーはもちろん男山や生駒山までも見ることができます。大文字五山の送り火も、絶好のスポットです。

暫し景色を楽しんだ後、ここが市内とは思えないような、うっそうとした森に被われた東南側の散策道を下っていき、どっしりとした佇まいの、建勲（通称けんくん・正式名たていさお）神社に着く。信長と信忠親子を祀るため明治2年に創建されたそうですが、辺りの桜は本当に見事でした。

船岡山を下り、再び北へ。今度は洛北随一の大寺院、不思議な上品さの漂う大徳寺の境内に入る。

一休和尚や沢庵和尚が住まわれたという大徳寺は、鎌倉末期に大燈国師によって創建された臨済宗大徳寺派の大本山。



船岡山より左大文字



建勲神社境内

また、千利休ゆかりのお寺でもあり、秀吉が信長の葬儀を営み、寺領を寄進し保護したので、諸大名が競って塔頭建立し、白壁の堀に囲まれた中には22もの塔頭があります。

龍光院、玉林院、高桐院と続く参道を通り、龍翔寺前で托鉢帰りの修行僧に一礼。この辺りの石畳の参道は私のお勧めのスポットです。

紫野高校の前を北上すると疫病の神として知られる今宮神社の楼門が見えてきます。994年船岡山に創建され、その後今の地に移ったという。毎年4月の第2日曜に行われる「やすらい祭」は太秦の牛祭、鞍馬の火祭と共に、京都三奇祭とされる。また毎月1日に催されるフリーマーケットは、一見の価値あり。

境内を通して、東門をくぐり、向かい合う軒のれんの店で、一寸一服。名物「あぶり餅」を土産に帰途へ。

約1時間半の自宅近辺の史跡めぐりを兼ねた散歩コース。みなさんいかがですか。



今宮神社東側参道 あぶり餅屋